

スピード社会

現代はなぜ何事もスピードが求められるのかといえば、競争社会では一般的に早いほうが決定的に勝利の確率が高いからです。何事も引き延ばすほど優位に立てません。昨今のコンビニ店舗の趨勢の果敢な決断には驚きを覚えま

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2010年10月18日 (月) NO 151

地域から明るい未来を作ろう

閉鎖、処分の基準を定めているのだと思います。決断には、行う、行わない、やめる、保留の4つがある。しかしこれらには、すべてタイミングの問題が存在します。これが大問題です。すなわちリスクです。リスクを取るか、不確定要素を覚悟するか。ここにポイントがあります。大きく成長する企業は流れや環境を見、果敢にリスクに挑戦して決断を実行に移した歴史があります。客観情勢、外部環境は急激に変化しています。結果、変わらなければならぬのです。これまでと同じでは、衰退は免れません。そして、社員はどうすれば良いか、模索しながら、これまでの実行責任と結果責任を負い、一丸とならなければ経営者は数年を待たずに最終責任を負うことになるのではないのでしょうか。すでにそんな時代に入っているように思え、経営者の責任は重大です。

あつという間にですが、もう働けど働けどでなく、すでに働く場所すらない・・・。

庶民の知恵

このためか 本来の東洋的価値観の家族・親族間の一体性が失われて、以前にはなかった事件が目立っています。これは、社会からの無形の圧迫が強くなり、事件にまでなっているのだと思います。

現在には完全なる第二の敗戦状態

態です。追従だけの体制で、アメリカを見習うものはもうないのでありませんか？

空気も水も思いやりも有料の社会で、この社会のどこにいいところがありますかと問われたらどう答えますか。

私達は本当に豊かなのでしょうか。動物的に神経障害が敗戦時の結核のように蔓延し、富の不均衡が拡大しているだけでしよう。これは、これから益々拡大するでしょう。

これからは、成長にしろの衰退にしろ、なにか変化の兆候を感じればそれは正しいものだと思う。兆候自体、見渡せば至る所に有ります。「なぜ」「どうして」自問し考え、答えを感じればそれが変化です。

日本人自らが持つ美意識の価値観が、地球規模で現代に通用するとは思いませんか。



運命の方向性

人間は、過去の数億年の生き物と、人間の遺伝子の結晶体です。どんな人もあなた自身が、過去に生きた先祖たちの固まりです。運命とは、なぜか皆さんは未来をイメージしていますが、未来では無く、「済んだ過去」を運命と言うのです。運命とは、自分の「命」を「運」んだ結果(軌跡)の道筋のことでしょう。自分の人生を振り返れば、一本の道筋になっているだけのことです。

選択肢は、過去でも未来でも無数に在るのです。ただ、選べるのは一つだけです。その連続が一本の道筋と成るだけです。過去を振り返れば、うまいこと一本の道に成っているからと、これからも道が一本に「決まっている」と思うのは大きな錯覚であり間違い。ただ、今の自分が歩いている方向性が在るだけです。今を、自分が出来る事を良心に従い懸命に生きることが、その人の運命と成り、軌跡をきざんで行く。ー伊勢白山道より